

年 組 名前：

富士急ハイランドに 「リラックマ」エリア

サンエックスが初の常設来年開業

「リラックマ」などの人気キャラクターの著作権販売管理を手がけるサンエックス（東京、千田洋史社長）と富士急行（富士吉田市、堀内光一郎社長）は21日、2026年に富士急ハイランド内にサンエックスのキャラクターの世界観を楽しめる常設エリア「サンエックスエリア（仮称）」を開業すると発表した。サンエックスがテーマパークに常設エリアを設けるのは初めて。

（三枝大悟）

記者会見する富士急行の堀内基光常務（左から2人目）、サンエックスの鈴木正人常務（同3人目）ら
＝東京都内



QRコードから
動画を見られます

両社によると新エリアは「キャラクター×癒し×遊園地」カワイイの化学変化がコンセプト。エリア内ではリラックマをはじめ「みみっころ」「たればんだ」などの新旧の人気キャラクターが登場する。キャラクターと一緒に乗り物に乗車できる体験型アトラクションやフォトスポット、グッズ販売などを展開するほか、サンエックスの映画など連動したイベントも計画。エリアの具体的な開設時期や広さは今後、改めて発表する。サンエックス側は「キ

「すみっコ」「たればんだ」も

キャラクターは全般的にアジア圏や海外でも人気が高い。日本の象徴となる富士山エリアからキャラクターの魅力を広げたい」と説明。富士急行側は「富士急ハイランドはジェットコースターなどの絶叫系アトラクションのイメージが強い。新エリアで子どもや女性からもめったに幅広い世代が楽しめる新たな魅力を提供できる」としている。

両社は同日、東京都内で記者会見を開き、サンエックスの鈴木正人常務や富士急行の堀内基光常務が出席。堀内常務は「富士急行は来年100周年の節目、サンエックスとともに新しい魅力創出に向け、富士急ハイランドにとどまらず、富士山、富士五湖エリア全体への展開も考えている」と述べた。会見では、新設エリアの発表に合わせて制作された、富士山をモチーフにした新キャラクターもお披露目された。

（2025 年 10 月 22 日付 山梨日日新聞 9 面）

問1 富士急ハイランドは、どのような常設エリアを2026年に、開業しますか。

.....

問2 「リラックマ」以外には、どんなキャラクターが登場しますか。

.....

問3 富士急ハイランドが、このエリアを開業することの目的を教えてください。

.....

.....